

学校名 三次市立三次小学校

校長名 出口 康子

I 学校の状況

学級数	11	児童・生徒数	221	教職員数	30
メールアドレス	miyoshi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/miyoshi/				

II 教育目標

【みよし学園小中一貫教育目標】

まちづくりに参画・貢献し、高い志をもつ子供の育成
(家庭・地域との共同した学びと発信を通して)

【学校教育目標】

心豊かで、自ら学ぶ意欲のある子供の育成
～みんなでつくるみんなの学校～

III 使命・存在意義（ミッション）

☐ 子供の命を守る ☐ 子供に生きる力をつける ☐ 子供も教職員も幸せになる

IV 重点事項（努力点）

【めざす子供像】 進んで学ぶ児童 仲良く伸び合う児童 元気でやりぬく児童

【育成をめざす資質・能力（みよし学園）】

主体性 自ら行動することで新たな価値を生み出し、積極的に他に貢献しようとする。

協調性 目的と目標を共有し、目標達成のために、自らの役割を理解し、他者と協力できる。

コミュニケーション能力 自分の考えをもち、他者の思いを受け止め、言葉で伝えあうことを通して互いを理解し、認め合える。

V 中心価値・行動規範

習慣で人をつくる 「時を守り、場を清め、礼節を重んずる」

授業で人をつくる 学びをつなぐ(伝え合い・聴き合い・表現)

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

信頼で学校をつくる CS の推進 情報発信 教育相談 「働き方改革」の推進

【行動規範】

- 1 「チーム三次」 … 情報を共有し、持続可能な取組を着実に実行する。
- 2 迅速で丁寧な対応 … 他者の立場に身を置き、考え行動する。
- 3 積極的な発信 … よさも課題も、他者の心に届く発信する。
- 4 Well-being の実現 … 子供も教職員も幸せになる。

わたしたち三次小学校教職員は、子供も大人も「いのち輝く」学校・家庭・地域をめざし、まちづくりに参画・貢献し、高い志をもつ子供を育み、9年間のストーリーを紡ぎながらみよし学園コミュニティ・スクールとして子供と学校と地域をつなぎます。

VI 現状分析

外部環境	O(支援的要因) 【地域】 ○学校運営協議会を中心に、豊富な人材による地域学習が可能 ○子どもの教育に対して協力的 【市・県教育委員会】 ○人的配置（学校支援員、障害児介助指導員、非常勤講師、SC等） ○タブレット端末の一人一台活用 ○人材育成への支援 ○働き方改革の推進	S(強み) 【学校】 ○新しい校舎での学びのスタート ○探究的で深い学びの実現に向けた研究の推進。 ○生徒指導における組織的対応が進んできた。 【児童生徒】 ○素直で思いやりがあり、違いを受け入れる。 ○地域とかかわる学習の中で、「やればできる・喜んでもらえた」と学習意欲が向上してきた。 【保護者】 ○学校内外での子どもの活躍に期待している。 ○学校・学年行事、PTA活動に協力的	内部環境	【支援的要因と強みを生かした活動・取組】 ○環境を生かした多様な学びの実現 ○探究カリキュラム実践・改善 ○個別最適な学び、協働的学びの一体的な充実 ○ICT 機器の効果的活用 ○生徒指導体制の確立と充実
	T(阻害的要因) 【学校】 ○校舎改築に係る環境の制限 【地域・家庭】 ○家庭が抱える課題の多様化（子育てへの不安、学校への関心が低い等） ○保護者間のつながりが希薄 ○コミュニティ・スクールの理解に差がある。	W(弱み) 【学校】 ○生徒指導力に差 ○多忙、時間の確保が難しい。（教材研究、児童と向き合う時間等） 【児童生徒】 ○基礎学力定着（知識・技能）の課題 ○自己肯定感が低い傾向 ○基本的生活・学習習慣の未定着 ○教室での学びに向かいにくい児童 【保護者】 ○家庭の教育力に差が大きい。学校に頼る傾向		【弱みを克服し、阻害的要因と回避する解決策】 ○ ○基礎的な学力の定着 ○学習に対する意欲の醸成 ○コミュニティ・スクールの周知・役割分担、家庭・地域と連携した取組の推進 ○関係機関等との連携

- (1) 学力の確実な定着・向上
 - ・基礎学力の定着
 - ・探究的な学びを中核に、児童の「問い」を大切にしたい主体的な学びの実現
- (2) 児童の生活の基盤となる学級経営・生活の安定
 - あたたかい（共感的な人間関係、安心・居心地のいい学級・学校）
 - ・児童が主体的に生活を見直し、「みんなが気持ちよく生活」できる学校づくり（協働して課題を解決）特別活動（学級での活動、児童会等の自治活動・学校行事の充実）
 - ・SST、ともえ教室、教育相談 《多様な人との出会い、かわりを大切に》
- (3) 健やかな体の育成
 - ・メディアコントロールの取組 ・体力づくり・運動の機会の充実
- (4) コミュニティスクールの充実
 - ・地域の人・もの・こと等を活用した体験的な活動による、深い学びの実現

多様な学びのスタイル
（場の設定、ICTの効果的活用、複線型授業、地域人材の活用等）